

北山ただお 市会報告

「北山ただおのホームページ」、フェイスブック毎日更新中



日本共産党山科区生活相談所 607-8344 京都市山科区西野大手先町 8-8 TEL 591-7851 FAX 595-8698



民間バス支援を要望

5月25日、私の所属する京都市会産業交通水道常任委員会が開かれ、議案が3件、理事者報告が5件あり、一般質問も行われました。

私は、上下水道局に対して、鴨川東岸線道路の拡幅計画に当たって隣接して走る琵琶湖疏水の工事の影響について質し、交通局に対しては、民間バスに対する支援について質しました。



民間バスに対する支援は、都市計画局の「歩くまち推進室」が昨年から7千万円の予算でバス路線拡充の社会実験やバス停留所の上屋やベンチなどのバス待ち環境を設置するものです。昨年は、山科の鏡山バス路線増発や、循環バス「くるり200」の増発、バス待ち環境に73ヶ所設置されています。今年度も更なる路線拡充や施設設置を求めました。

京都市消防団総合査閲に参加

6月3日、京都市消防活動総合センター（京都市消防学校）で、毎年実施の「京都市消防総合査閲」が行われました。山科から「山階消防分団」が受閲されました。査閲は集合しての整列や行進の「通常点検」と小型動力ポンプの使用による「消防訓練」があります。代表の団は、1年間かけて訓練を重ねてきています。きびきびした行動は消防分団の結束を示し、統制のとれた行進には訓練の成果を感じました。



市民の命とくらしを守って活躍される団員の皆さんに、惜しみない拍手と声援が送られました。

『谷善と現代』を読んで

日本共産党衆院議員・作家として活躍された谷口善太郎さん（1974年没）を偲び、顕彰する「谷口善太郎を語る会」編集の「谷善と現代」第2号が発行されました。12名の方が、それぞれの研究や感想を投稿された36ページの小冊子です。



私も、1972年の衆院選挙では、衆院二区（当時）谷口さんと梅田さんをそろって勝利させた選挙に奮闘しました。当時私は東山企業組合の職員として働いていましたが、選挙中に本部事務所の二階で昼食をとられたことをよく覚えています。ざるそばの出前を取られて、一人ですすられていたのが印象的でした。

在職35年表彰 皆様から感謝です。

6月31日、全国市議会議長会による議員在職15年と35年の表彰伝達式があり、私は在職35年の特別表彰を受け、議長から表彰状と記念バッジをいただきました。



35年にわたって、私を京都市会に送っていただいた支持者の皆さんに深く、深く感謝申し上げます。

引き続き市民の暮らしと平和を守って頑張る決意です。

副議長たらいまわしに抗議！ 市会の民主的運営を！！

5月市会での副議長選挙で日本共産党市会議員団から私が立候補しました。議会の民主的運営から言って、「第1党から議長、第2党から副議長」ということが憲政の常道であり、市会第2党の我が党は各会派にも申し入れをしてきました。

結果は、共産党議員団以外が共産党を排除して第三党の公明党から副議長を選び、議会人事から第2党である日本共産党を排除しました。私は、過去十数回にわたって副議長に立候補してきましたが、議会人事から共産党を排除することに厳しく抗議するものです。

雨やどり展

18人のグループの皆さんが開かれた、「雨やどり展」に行ってきました。

ご案内をいただいた宮崎さんがちょうどおいでになり、ご挨拶をして、作品の説明をお伺いしました。



山科健康まつり

大宅診療所で開催の「健康まつり」に参加しました。お天気にも恵まれ、たくさんの方が血圧測定や健康相談に来られています。私も骨密度を計ってもらったところ、「まあこんなものでしょう」との一言にほっとしました。



住宅デーに参加しました。 厳しい仕事状況と国政や大企業への怒りが



京都建築労働組合などが中心となる実行委員会が主催される、「住まいの無料相談デー第41回住宅デー」が山科区内13会場で行われ、私は山科南部の9会場を廻ってご挨拶しました。

住宅デーは、京都府や京都市、林野庁、国土交通省、住宅金融支援機構などが後援されています。

会場を回りながらお話しをお伺いすると、「仕事は厳しい」「単価が上がらずに、あまり収入が上がらない」「年金で生活しています」などお仕事が厳しい状況にあることが話され、「国会はひどいですね」「政治家はうそをついてもいいんですか」「日大や神戸製鋼なども国を見てあんなことになってるんでしょうか」などの怒りの声も寄せられました。